

火災概況月報

(令和6年2月分)

2023年度全国統一防火標語『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

火災概況通信 3月号

令和6年3月14日

編集・発行 岐阜県消防課

TEL 058-272-1123

	区 分	火 災 件 数 (件)						焼 損 面 積			火災損害額 (千円)	焼損棟数 (棟)	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)
		計	建 物		林 野	車 両	その他	建 物 焼 損 床面積(㎡)	建 物 焼 損 表面積(㎡)	林 野 焼 損 面 積 (a)				
			住宅(併用共同舎)	その他										
合 計	前 月 累 計	53	23	14	0	3	13	378	57	0	34,227	31	17	42
	本 月 計	60	21	7	1	6	25	612	19	1	15,596	25	12	27
	累 計	113	44	21	1	9	38	990	76	1	49,823	56	29	69
	前年累計比較	△ 33	△ 7	△ 8	△ 7	2	△ 13	△ 2,383	△ 161	△ 23	△ 145,726	△ 75	△ 54	△ 95
前 年	同 月 分	82	24	15	5	3	35	1,500	142	20	88,297	61	39	80
	累 計 分	146	51	29	8	7	51	3,373	237	24	195,549	131	83	164

	区 分	死 傷 者 数		出 火 原 因 (件)											
		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	計	たばこ	こんろ	火遊び	たき火	放 火	放火の疑い	ストーブ	火入れ	電灯・電話 等配線	その他	不明 調査中
合 計	前 月 累 計	3	8	53	2	2	1	7	0	4	2	2	1	14	18
	本 月 計	4	6	60	2	1	0	7	2	1	2	4	0	11	30
	累 計	7	14	113	4	3	1	14	2	5	4	6	1	25	48
	前年累計比較	2	△ 6	△ 33	△ 7	△ 1	1	△ 14	△ 1	3	△ 2	△ 8	△ 6	△ 18	20
前 年	同 月 分	1	13	82	8	4	0	21	0	2	0	8	3	23	13
	累 計 分	5	20	146	11	4	0	28	3	2	6	14	7	43	28

※数字は速報値ですので、今後変わる場合があります。

- 1 2月の総出火件数は60件で、前年同月に比べ22件減少(26. 8%減)しました。
- ・建物火災は28件(11件減)、林野火災は1件(4件減)、車両火災は6件(3件増)、その他火災は25件(10件減)となっています。
- ・建物火災は全火災の46. 7%でした。
- 2 2月の火災による死者は4人で前年同月と比較し3人増加し、負傷者は6人で前年同月と比較し7人減少しました。
- 3 出火原因の第1位は「たき火」で7件、第2位は「火入れ」で4件、第3位は「たばこ」「放火」「ストーブ」でそれぞれ2件でした。
- ・「放火」と「放火の疑い」を合わせた件数は3件(5. 0%)です。



## ★ 春は最も火災が発生しやすい季節です

春は空気が乾燥することなどから火災が非常に発生しやすい季節です。

令和元年から令和5年までの5年間で3月は平均79件の火災が発生しています。

特に建物火災はもちろん、たき火や火入れなどを原因とする林野火災、枯草等が燃える火災(その他火災)が、例年この季節に多発します。

少しの注意で火災を防ぐことができます。以下の点に注意して安全に火を取り扱うようにしてください。

### ◆たき火による火災を防ぐために

- ・周囲に燃えやすいものがない場所で行う
- ・水バケツ、消火器等による消火の準備をする
- ・火を消すまでその場を離れない
- ・乾燥注意報等が出ているときや、風の強いときはやめる
- ・少しずつ燃やし、着衣着火・やけど等に注意する
- ・再び燃え出さないよう、完全に火が消えたことを確認する

### ◆住宅防火 いのちを守る 10のポイントー4つの習慣・6つの対策ー

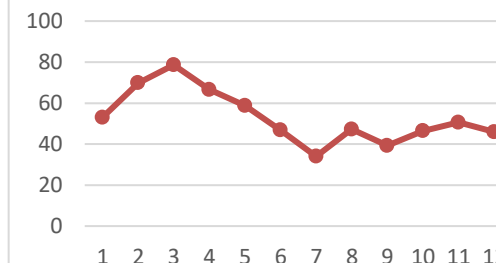
#### 4つの習慣

1. 寝たばこは、絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

#### 6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

R1からR5までの月別平均  
火災件数



## ★ 2023年度 全国統一防火標語

# 火を消して 不安を消して つなぐ未来

## ★ 住宅用火災警報器を設置しましょう！！

### ■ 岐阜県内令和5年6月時点の設置率は82.1%！

消防法の改正により、県内では平成23年5月31日までの設置が義務化された、住宅用火災警報器の設置率(令和5年6月時点)が7月に公表されました。

全国における住宅用火災警報器の設置率は84.3%、岐阜県における設置率は82.1%となっており、前回の80.4%から1.7ポイントの増加となります。

47都道府県中、岐阜県の設置率は26番目となります。

○設置義務のある場所

寝室と寝室がある階の階段上部(寝室が2階以上の場合)

・新設住宅 平成18年6月～ ・既存住宅 平成23年6月～

	設置率	参考(前回)	増減	条例適合率
	R5.6	R4.6		R5.6
全国	84.3%	84.0%	0.3	67.2%
岐阜県	82.1%	80.4%	1.7	63.1%

設置率:設置義務のある場所の一部分でも設置している住宅を含めた割合  
条例適合率:設置義務のある場所すべてに設置している住宅の割合



あなたや家族の大切な命を守るために、一日も早い住宅用火災警報器の設置をお願いします。